



二者面談ありがとうございました

7 月 7 日（月）～7 月 11 日（金）に行いました二者面談ではお忙しい中お時間をつくっていただき、ありがとうございました。

夏休み前のこの時期に、お子様の 1 学期の学校・家庭での様子を各担任と共有していただくことで、お子様の 1 学期の成果と課題に基づいた夏休みの生活や 2 学期の学校生活について見通しをもっていただければと思います。

塩梅

「しおうめ」ではなく、「あんばい」と読むそうです。意味としては、料理の味加減やものごとの具合を指すそうです。

たしかに、塩が濃かったり薄かったりしては、どんないい食材を使ったとしても料理は台無しになってしまいます。

では、私たちが子どもと関わる時の『塩梅』はどうでしょうか。子どもの成長段階にもよりますが、何から何までしてあげて、子どもの出番や考える機会をなくしてしまっていたり、逆に何から何まで子ども任せで、ほったらかしにしてしまっていたりしているのは塩梅がいいとは決して言えないと思います。

次のような教訓があるそうです。

乳児の時は肌を離さず

幼児の時は肌を離して、手を離さず

少年の時は手を離して、目を離さず

青年の時は目を離して、心離さず



親と子の距離感の大切さを表したものだそうです。もちろん段階を追うことが大事で、その時期に合わない時に離されたのでは、子どもは戸惑うことでしょう。しかし、子どもはいずれ親の庇護を離れ、自立する時が来ないといけません。そのための準備を少しずつしていくのだと思います。